

産業建設委員会

令和2年4月16日(木)

第4委員会室

10時00分～時分

【委員】串崎委員長、飛野副委員長、
川上委員、野藤委員、笹田委員、布施委員、道下委員

【執行部】

(産業経済部) 湯浅産業経済部長、佐々木産業経済副部長、大驛商工労働課長、
山口産業振興課長、永見水産振興課長、戸津川副参事、岸本観光交流課長、
松井水産係長、田中専門企画員

【事務局】中谷書記

議題

1 浜田漁港周辺エリア活性化計画に関する執行部との意見交換について

2 その他

浜田漁港周辺エリア活性化計画

概要版

安全・安心で、活力ある
水産業が展開され、
賑わいのある浜田漁港



令和2年 3月

浜田市

◇浜田漁港エリアを取り巻く現状と課題◇

浜田市の概要

浜田市は、島根県西部（石見地方）の中央に位置しており、東西46.4km、南北28.1km、面積690.68km²を誇る県西部の中核都市です。2005年（平成17年）に、浜田市、金城町、旭町、弥栄村及び三隅町が合併し、現在の浜田市が誕生しました。

本市は、「しまね海洋館アクアス」や伝統芸能「石見神楽」、温泉等の多様な地域資源を有しているほか、県内唯一の国際貿易港かつ国土交通省の日本海側拠点港にも選定されている浜田港の整備も充実しています。

また、「浜田漁港」を中心とした水産業が市の基幹産業を担っており、地域振興や文化振興の面でも重要な役割を担っています。

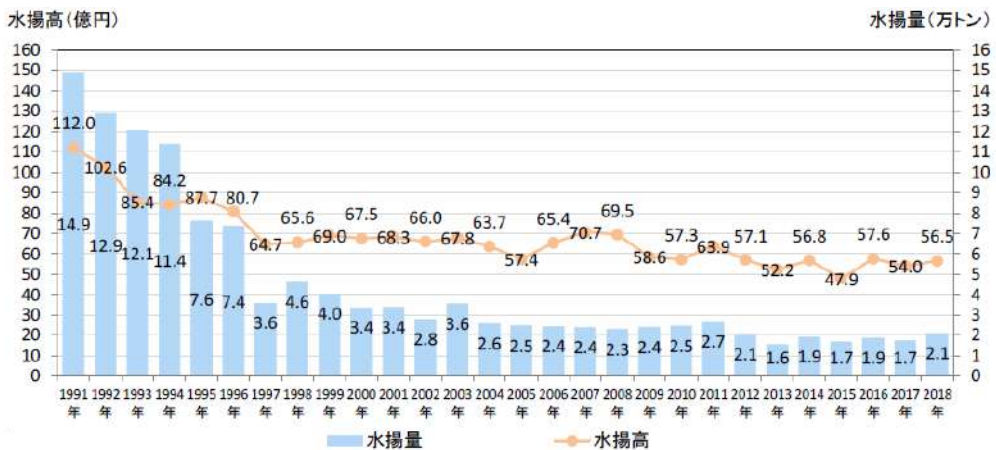


浜田市の水産業の現状と課題



水揚げ動向

- 浜田漁港の水揚量：約2.1万ト（2018年）
- 浜田漁港の水揚高：約56.5億円（2018年）
- 1991年以降、水揚量・水揚高はともに減少傾向



浜田漁港の水揚量・水揚高の推移



漁業就業者・経営体の状況

- 漁業就業者数：440人【2003年】⇒276人【2013年】
- 漁業経営体数：214経営体【2003年】⇒135経営体【2013年】
- 漁業就業者数・漁業経営体数ともに減少傾向

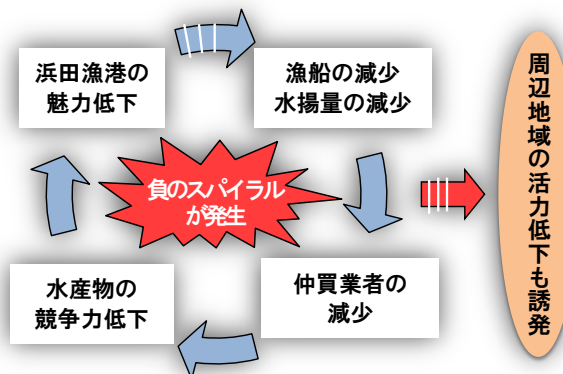


水産加工業の動向

- 水産加工場数：65工場【2003年】⇒50工場【2013年】
- 2003年から事業者数は減少傾向
- 過去10年間で15工場が閉鎖

*課題としては…

- 水揚量及び魚価の低迷
- 操業している漁船の老朽化
- 漁業就業者の後継者不足
- 生産者・仲買人等の関係者間の連携不足
- 物流機能の脆弱化
- 冷凍冷蔵庫の不足による水産物ストック機能の低下



浜田漁港エリアの特性

浜田漁港は、県下唯一の特定第3種漁港であり、原井地区を拠点に瀬戸ヶ島地区、松原地区により構成されています。浜田漁港に隣接して浜田商港があり、水産関連の工場以外でも貿易関係の企業が立地しています。浜田地区は水産の町として明治に入ってから急激に発展し、その要因として1952年（昭和27年）に第3種漁港、1969年（昭和44年）に特定第3種漁港に指定されたことが挙げられます。このため、今日では西日本有数の水産都市のひとつに数えられています。

また、原井地区、福井地区、長浜地区は、「みなとオアシス」に指定（2016年（平成28年）2月）されており、旧しまねお魚センターは原井地区の中核施設に位置づけられています。福井地区はクルーズ客船を中心とした港の賑わい創出、長浜地区は地域住民の交流推進拠点として位置づけられています。

浜田漁港周辺の水産関連施設

浜田漁港（原井地区）には、漁業関連施設のほか、水産物の流通拠点である「浜田市公設水産物仲買売場」や、市民が利用する「サンマリン浜田」、「旧しまねお魚センター」が存在しています。

また、水産加工業が集積する「水産加工団地」も整備されており、漁業、流通、加工、観光に関する施設が集約されています。



浜田漁港エリアの水産関連施設

浜田漁港周辺エリアの課題・ポテンシャル

浜田漁港周辺エリアは、中心市街地や観光拠点施設と近接し、商港、漁港及び観光拠点施設が一体となった浜田市を代表する「海」に関する機能が集積するエリアとなっています。加えて、漁業・水産加工業等の「海」に関する生業のほか、体育施設、魚介類の販売・飲食施設、釣り等のマリンレジャーのフィールドが存在し、海を活かした集客・交流拠点としての役割が期待されています。

浜田漁港エリアが、賑わいの拠点としてポテンシャルを発揮するためには、山陰有数の浜田漁港で水揚げされる多様で新鮮な魚介藻類の魅力を広く発信していく必要があります。



浜田市のシンボルである浜田マリンドック

◇浜田漁港の目指すべき姿と取組方針◇

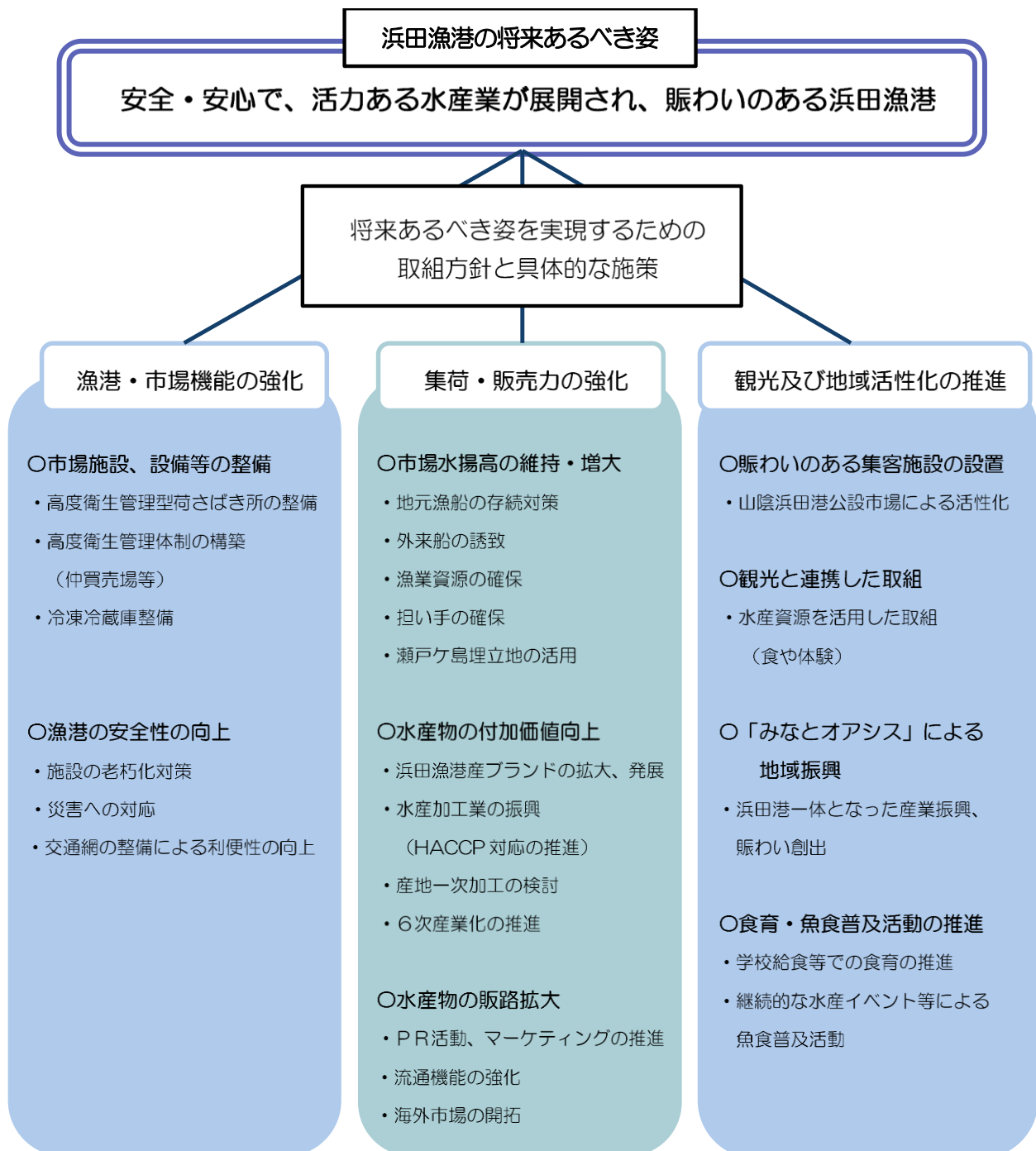
将来あるべき姿

浜田市では水産業が重要な基幹産業であり、浜田漁港の水産物が消費者に信頼され、全国的に通用する競争力を強化することが求められます。また、水揚量を維持・増大し、水産物の高付加価値化を推進することにより、活力ある水産業が展開されることで、周辺地域にもその賑わいが波及し、浜田漁港が周辺地域の観光の核としての役割を担うことが期待されます。

そこで、本計画では、浜田漁港の将来ビジョンを『安全・安心で、活力ある水産業が展開され、賑わいのある浜田漁港』とし、計画の期間は、2020年度（令和2年度）から2025年度（令和7年度）までの6年間とします。

計画の体系

将来ビジョンを実現するために、取組方針として3つの柱を設定し、それぞれについて具体的な施策を推進します。



◇浜田漁港の活性化に向けて推進する取組◇

漁港・市場機能の強化

市場施設・設備等の整備

① 高度衛生管理型荷さばき所の整備

- 高度衛生管理型荷さばき所の整備を計画的に実施



② 高度衛生管理体制の構築

- 浜田漁港高度衛生管理推進協議会（仮称）を発足し、衛生管理を継続的に行うためのマニュアルの作成及びマニュアルに準じた適正管理を実施

③ 冷凍冷蔵庫の整備

- 事業者が行う冷凍冷蔵庫の整備について支援を検討

漁港の安全性の向上

① 施設の老朽化対策

- 施設の計画的な改良・更新を進めるとともに、予防保全の観点から、漁港施設の適正管理を推進

② 災害への対応

- 2015年（平成27年）3月に策定した「浜田地区漁業地域減災計画」に則し、避難訓練の実施や意識啓発に向けた取組を展開

③ 交通網の整備による利便性の向上

- アクセスしやすい浜田漁港の実現に向け、効果的なサイン整備を検討
- 公共交通利用者の利便性の向上を図るため、エリア内への路線バスの乗り入れなどの検討と関係機関への働きかけを実施

評価目標（KPI）

成果指標	現状値 (2018年度)	目標値 (2025年度)
高度衛生管理型荷さばき所整備率の増加	34%	100%
衛生管理チェックの実施率	—	100%
冷凍／冷蔵能力の増加	281t/19,679t	370t/24,700t

集荷・販売力の強化

水揚高の維持・増大

- ① **地元漁船の存続対策**
 - 🐟 漁船の老朽化対策を含めた漁業構造改革を推進
- ② **外来船の誘致**
 - 🐟 全国のイカ釣漁船や大中型まき網船団等、浜田沖で操業する漁船に対する誘致活動を積極的に実施
- ③ **漁業資源の確保**
 - 🐟 アワビ、ヒラメ等の放流事業の成果の検証や新たな放流魚種の研究を促進
- ④ **担い手の確保**
 - 🐟 新卒者・UIターン者等の就労支援・雇用支援を実施
- ⑤ **瀬戸ヶ島埋立地の活用**
 - 🐟 陸上養殖等の可能性について研究を進め、新規参入者の誘致を促進

水産物の付加価値向上

- ① **浜田漁港産ブランドの拡大と発展**
 - 🐟 「どんちっち」、「山陰浜田港」等のブランド認証制度を活用し、品質管理の徹底、官民が一体となったPR活動等を展開
- ② **水産加工業の振興（HACCP 対応の推進）**
 - 🐟 HACCP 対応型の衛生管理の導入促進により、安全・安心な生産体制を確立し、国際的な競争力を持った商品供給体制を構築
- ③ **産地一次加工の検討**
 - 🐟 産地での一加工の実施、流通における鮮度・衛生管理水準の向上を検討
- ④ **6次産業化の推進**
 - 🐟 生産者と他業種の連携による新たな商品・サービス開発等に取り組む事業者を支援

水産物の販路拡大

- ① **PR 活動・マーケティングの推進**
 - 🐟 商談会や展示会への出展により、販路拡大に向けた取組を実施
- ② **流通機能の強化**
 - 🐟 他地域の調査、航空貨物の活用等の新たな輸送システムの研究を実施
- ③ **海外市場の開拓**
 - 🐟 海外への水産物流通の実態調査や展示会等への出展、浜田港国際コンテナ航路活用を検討

評価目標（KPI）

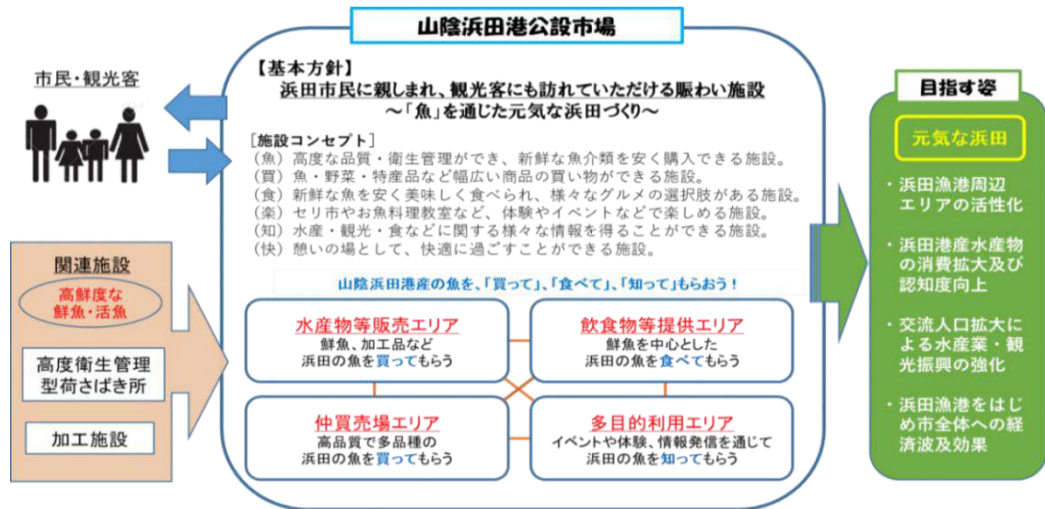
成果指標	現状値 (2018年度)	目標値 (2025年度)
沖合底びき網漁船団の維持	4ヶ統	4ヶ統
まき網漁船団の維持	2ヶ統	2ヶ統
定置網漁船の維持	2経営体	2経営体
外来船誘致活動の実施	1回/年	2回/年
ヒラメ稚魚育成尾数(累計)	240,000尾	800,000尾
アワビ稚貝放流数(累計)	32,000個	144,000個
稚ウニ放流数(累計)	11,000個	81,000個
新規漁業研修者の増加(累計)	15人	47人
瀬戸ヶ島埋立地における水産関連活用事業者数	1社	2社以上
「どんちっち」ブランド加盟事業者数(累計)	143社	170社
HACCPに沿った衛生管理の実施率	14%	100%
山陰浜田港口ゴマーク使用許可事業者数(累計)	42社	60社

観光及び地域活性化の推進

賑わいのある集客施設の設置

① 山陰浜田港公設市場による活性化

山陰浜田港公設市場の整備



- 地産地消の推進
- 魚介類の鮮度管理・衛生管理の徹底
- 産地情報の発信
- 鮮魚を楽しむ飲食店の整備
- 旬の魚を味わうイベントの開催
- 浜田の魚を使った特産品開発の推進

観光と連携した
取組

① 水産資源を活用した取組（食や体験）

- 海の仕事に触れるプログラムづくり
- 漁業体験機会の提供
- 体験メニューの充実
- ブルーツーリズムの推進

「みなとオアシス」
による地域振興

① 浜田港一体となった産業振興、賑わい創出

- クルーズ客船の誘致、乗客に対するおもてなし等を実施し、寄港に伴う経済効果の獲得と賑わいの創出
- 浜田の魚や海の特徴を活かした魅力あるイベントを開発・実施

食育・魚食
普及活動の推進

① 学校給食等での食育の推進

- 学校給食で使用できるメニューの開発を推進

② 継続的な水産イベント等による魚食普及活動

- 浜田漁港で水揚げされた魚介類を使った料理教室の開催

評価目標（KPI）

成果指標	現状値 (2018年度)	目標値 (2025年度)
山陰浜田港公設市場の年間入込客数	103,994人	150,000人
学校・公民館等での魚食講座参加者数	721人/年	800人/年
四季のお魚料理教室参加者数	131人/年	140人/年

◇推進する取組の実施体制◇

項目	施策	事業	関連団体					
			県	市	JF	その他		
6-1	漁港・市場機能の強化							
	6-1-1	市場施設、設備等の整備						
		①	高度衛生管理型荷さばき所の整備	○	◎	○		
			②	高度衛生管理体制の構築	○	○	○	◎ 浜田漁港高度衛生管理推進協議会
				衛生管理マニュアルの策定	○	○	◎	◎ 浜田漁港高度衛生管理推進協議会
	③	冷凍冷蔵庫の整備	○	○	◎	◎ 仲卸事業者		
	6-1-2	漁港の安全性の向上						
		①	施設の老朽化対策	○	○	◎		
			②	災害への対応	◎	○	○	◎ 浜田地区漁業地域防災協議会
			③	交通網の整備による利便性の向上	○	◎	○	◎ 浜田魚商協同組合
6-2	集荷・販売力の強化							
	6-2-1	水揚高の維持・増大						
		①	地元漁船の存続対策	沖合底びき網漁船団維持	○	○	○	◎ 漁業生産者
				まき網漁船団維持	○	○	○	◎ 漁業生産者
				定置網漁船維持	○	○	○	◎ 漁業生産者
		②	外来船の誘致	○	◎	◎	◎ 浜田市議会	
		③	漁業資源の確保	ヒラメ稚魚育成尾数	○	◎	○	◎ 島根県水産振興協会
				アワビ稚貝放流数	○	○	◎	◎ 漁業生産者
				稚ウニ放流数	○	○	◎	◎ 漁業生産者
		④	担い手の確保	○	○	◎	◎ 漁業生産者	
		⑤	瀬戸ヶ島埋立地の活用	○	○	○	◎ 水産関連事業者	
	6-2-2	水産物の付加価値向上						
		①	浜田漁港産ブランドの拡大と発展	○	◎	○	◎ 浜田市水産物ブランド化戦略会議、 浜田市水産業振興協会ほか	
			②	水産加工業の振興	○	○		◎ 水産加工事業者
			③	産地一次加工の検討策の推進	○	○		◎ 仲卸事業者
	④		6次産業化の推進	○	○	○	◎ 漁業生産者、水産加工事業者ほか	
	6-2-3	水産物の販路拡大						
		①	PR活動・マーケティングの推進	○	◎	○	◎ 浜田市水産業振興協会ほか	
			②	流通機能の強化	○	◎	○	◎ 浜田魚商協同組合
	③		海外市場の開拓	○	○		◎ 水産加工事業者、仲卸事業者ほか	
6-3	観光及び地域活性化の推進							
	6-3-1	賑わいのある集客施設の設置						
		①	山陰浜田港公設市場による活性化		◎		◎ 指定管理者	
	6-3-2	観光と連携した取組						
		①	水産資源を活用した取組(食や体験)	○	○		◎ マリンレジャー実施団体	
	6-3-3	「みなとオアシス」による地域振興						
		①	浜田港一体となった産業振興、賑わい創出	◎	◎		◎ みなとオアシス浜田運営協議会	
	6-3-4	食育・魚食普及活動の推進						
①		学校給食等での食育の推進	○	◎	○	◎ 水産加工事業者、 浜田市水産業振興協会		
②	継続的な水産イベント等による魚食普及活動		○	○	◎ 浜田市水産業振興協会			

◎: 実施主体、○: 連携又は支援機関

◇推進体制◇

本計画に掲げる将来像の実現に向け、浜田市、JF しまね、漁業生産者、仲卸事業者、観光関連団体、島根県等で組織する「浜田市水産業振興協会」を本計画の推進主体に位置付け、各施策の推進、計画の進行管理を行います。

また、同協会内に、3つの取組方針ごとのワーキンググループを設け、関係者との役割分担のもと、関連する事業の推進を図ります。加えて、浜田漁港周辺エリア活性化検討委員会を「浜田漁港周辺エリア活性化推進委員会(仮称)」に移行し、計画の評価・検証機関と位置付け、各事業の効果や目標達成状況等の検証を行います。

浜田漁港周辺エリア活性化計画(概要版)

令和2年3月

浜田市 産業経済部 水産振興課

〒697-8501 島根県 浜田市 殿町 1番地 (☎:0855-25-9520 / Mail:suisan@city.hamada.lg.jp)